

タテハチョウ科 (Nymphalidae)



属 Argynnis
種小名 paphia
英名 SilverWashedFritillary
和名 ミドリヒョウモン
分布 旧北区
開長 68mm
食草 スミレ科の各種のスミレ類

旧北区の温帯域を中心として分布する。本来草原性の蝶でアザミ、トラノオに飛来。♀♂の差が著しいものあり。食草はスミレ科。



属 Argyreus
種小名 hiperbius
英名
和名 ツマグロヒョウモン
分布 日本～アフリカ北部
開長 74mmUN
食草 スミレ科の各種のスミレ類

属はユーラシア大陸の大型ヒョウモン中唯一の亜熱帯進出属で、年多化性のもの。♀はスジグリカバマダラに擬態。食草はスミレ科。亜熱帯性の本種が最近生息範囲を北へ広げている。地球温暖化のためか。



属 Aglais
種小名 urticae
英名 SmallTortoiseshell
和名 コヒオドシ
分布 旧北区
開長 54mm
食草 イラクサ科のイラクサ、ムカゴイラクサなど

コヒオドシurticaeが代表。北米大陸によく似たものが2種。環北極の属で温帯では高地に生息。



属 Nymphalis
種小名 antiopa
英名 CamberwellBeauty
和名 キペリタテハ
分布 全北区
開長 62mm
食草 カバノキ科のダケカンバ、シラカンバなど

この属は、北極圏を含む北部中心に展開する。背景色はオレンジ、茶色、黒紫といろいろ。翅を閉じれば枯れ葉に似ていて保護色になっている。成虫で越冬する。